

日本スペースイメージング(株)とのタイアップ事業概要

北海道における最近の大規模災害

	災害	被災状況
平成5年	北海道南西沖地震	奥尻島等で津波による大被害
平成12年	有珠山噴火	道路や建物の崩壊、降灰による森林被害等
平成15年	十勝沖地震	津波、液状化現象、交通網寸断、石油タンク火災
平成16年	台風18号	強風による転倒や飛散物の落下による負傷者、建物損壊や倒木被害多数

被災地における迅速な災害対策と地域における防災体制の充実整備を図ることが重要

タイアップ!

衛星画像を活用した防災対策の充実と地域防災力向上に向けたセミナーの開催

1. 衛星画像を活用した防災対策の充実(緊急時)

道の役割・課題

様々な災害の発生時において、被災地の状況を速やかにかつ正確に把握することが必要。地震や噴火等により、立入困難地域が生じた場合、被災状況の情報収集に時間を要する。

日本スペースイメージング(株)(JSI)

1999年にアメリカが打ち上げた、解像度1mの撮影を行うことができる商用観測衛星「IKONOS」を利用した、ライブラリ画像販売、新規撮影サービスを展開

大規模災害発生時、JSIから災害の緊急対応に必要な衛星画像の提供

事業効果

JSIが保有する画像データを活用し、災害前後の被災地の状況を比較することで、災害対策のための情報を迅速・正確に入手することが可能

2. 地域防災力向上セミナーの開催(平常時)

道の役割・課題

災害発生時の被害を最小限にとどめるには、迅速的確な対応はもちろん、市町村を通じ、日常から住民の防災意識を高めることが重要

日本スペースイメージング(株)(JSI)

衛星画像の各種処理・解析及び、画像判読、地図作製トレーニングサービス等防災に関する情報を所有。防災関連の学識経験者とも交流。

道が開催する防災セミナーに講師の派遣協力(学識経験者等)

事業効果

避難勧告の実施体制、高齢者・障害者等の災害弱者に対する対応等、災害時に求められる対応について、道の行政情報提供及び学識経験者の講演によるセミナーを開催。
地域防災力の向上に向けて、道内各市町村のより一層の取組を促す。